

お詫びと事業再開のお知らせ

近隣住民の皆様へ

このたびのトヨタファームにおける豚コレラ感染に際しまして、近隣住民の皆様には大変なご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。心よりお詫び申し上げます。

平成31年2月5日に愛知県から当農場が豚コレラに感染しているとの報告を受けたとき、私は頭の中が真っ白になり震えが止まりませんでした。また、発生した事態に対してどう対応していけばよいのか全く想像もつかない状態でした。

翌日から法で定められた防疫措置に則って、数百人規模の自衛隊と県職員による豊田農場と田原農場の全ての豚の殺処分と埋設作業が始まりました。皆様の中にはその様子をご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。私は、手塩にかけて育ててきた豚たちが殺され埋められていくのを見て、あまりに辛く涙が止まらず、自分も一緒に埋めてほしいとまで思うほどでした。

その後は、「なぜ防げなかったのか?」「養豚を再開できるのか?」と後悔や不安に苛まれるなかで再起へ向け農場内外の消毒作業・再発防止策の策定に専念して参りましたが、令和1年7月17日に国の定める厳しい清浄性検査をクリアし、愛知県畜産課ほか関係各所の皆様のご協力により令和1年7月18日には愛知県畜産センターから母豚8頭を導入できたことで、事態発生からおよそ半年をかけ、ようやく事業再開に至りました。

現時点では、愛知県内だけでなく他県においても豚コレラが終息する気配はなく、先が見えない状況ではありますが、トヨタファームの理念である「高品質な国産農産物を安定供給することに責任を持ち、大切な自然環境を守りながら“おいしさ”を育てることを使命とし、皆様の食卓に“安心・安全”をお届けすること」を続け地元地域および農畜産業へ貢献していくため、家族・従業員一同再び頑張っています。

皆様におかれましては、地元農畜産業の回復・継続を見守っていただければ幸いです。また、ご要望やお気づきの点などがございましたら、ご連絡ください。

令和元年7月31日
トヨタファーム
代表 鋤柄 雄一 印